

〈インターンシップ報告〉



友木一行 (22歳) 新座市

一番思ったことは、学校の授業で書いている図面と、実際に社会に出てから仕事として書く図面とでは、大きな違いがあるということ。これを実感出来たことが大きな収穫であったと思う。意匠設計図と施工図の精度、情報量がこんなにも違うとは知らなかったし、今まで自分が書いていた図面の未熟さをひしひしと感じた。カリキュラムが午前講義で午後実習となっていたことも、自分の中で整理しやすかった。講義で図面を見ながら、図面であらわされている表現が、実際はどのような納まりになっているのか説明してもらっ

たことで、午後実際にCADでトレースしていても、そのものがイメージしやすかった。そして、図面を書く上でも、本物の表現を見ることが出来て、勉強になった。そして、設計事務所の方の話聞くことが出来て建築業界の現状や、自分がどうして行くべきなのかが分かった。まず、学校では施工図を意識した図面を書いていく。そして、自分の目指したいところは企画設計なので、一度現場監督として、現場を見ながら施工図の勉強をして、この厳しい世界に挑戦しに帰って来たいと思う。忙しい中ありがとうございました。



端川法子 (27歳) 和光市

今回のインターンシップ研修に於いては、建築業界の現状や設計事務所の実務というのを教えて頂き、大変勉強になりました。施工図の存在や必要性など、知らなすぎて興味深かったです。学校で学ぶ建築というのはごくごくさわりの部分であって、理想であると頭では理解していたつもりでしたが、本当にこうも違うものなのかと衝撃を受けました。昭和音大の施工図等を見せて頂きましたが、その内容にも図面の精度にも、盛り込まれた情報量にも驚かされました。また、音大という特殊な空間を設計するにあたっての下調べの話など、果たして自分はどうかと反省させられる事だらけでした。

学生であってもプロであっても、都度貪欲に学ぶ気持ちでいなくてはならないという当たり前の事ですら、忘れていたと気づかされました。恥ずかしく思いました。たった4日間ではありましたが、自分の設計に対する漠然とした思いが少し明確になり、この業界で自分は何がしたいのか、どんな仕事がしたいのかが見えてきた気がします。CADに関しても、この世界ではいかに大切な技術であるかを実感しました。もっと沢山使って、確実に使いこなせる様になります。短い期間とはいえ、忙しい中時間をとって教えて頂きありがとうございました。